

2023.10.1.



# Peace Now! Hiroshima 2023



## 概要

日程：2023年9月3日(日)～9月4日(月)

GL会議を9月2日(土)で実施

場所：広島市青少年センター 広島平和記念公園周辺部

人数：参加者13 会員生協41名 GL8名 実行委員・運営11名

東京大(2) 岐阜大(2) 奈良女子大(2) 近畿大(2) 岡山大(2) 広島大(1) 島根大(1) 福山市立大(3) 長崎大(1)

長崎県立大シーボルト校(3) 長崎県立大佐世保校(2) 熊本大(5) 宮崎大(1) APU(3) 各ブロック(11) その他(4)

## セミナーテーマ

【全体テーマ】

# 私がつなぐ・あなたと広げる未来のバトン

～平和を伝えていくのはわたしたちの1歩から～

【ヒロシマテーマ】

・ヒロシマの過去を追体験して、先人の想いや、当時の背景を知り、自分なりに解釈する。

・様々な価値観の人と対話することによって、多角的な視点から、自分自身の平和について考える。

・自分が平和のバトンを繋いでいく存在であることを理解し、みんなで平和について考えることを大切にする。

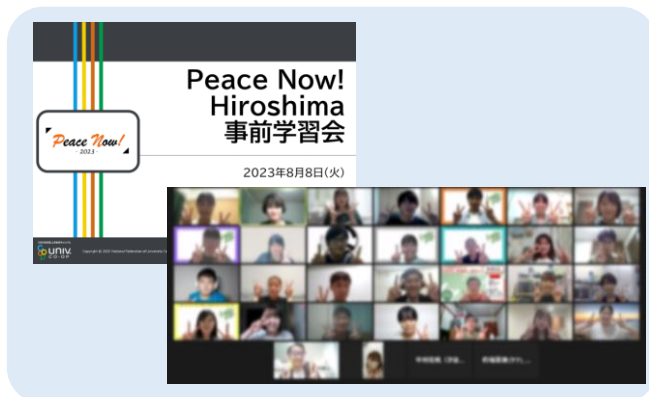
## 企画内容

# 00 広島平和はどのように言葉に紡がれるだろうか。

【事前学習会】 8/8(火)18:00～20:00

学習会では、多賀に平和について関心のあるニュースを語り合うことに始まり、PeaceNow!Hiroshimaのテーマを伝えながら、戦争手記や平和記念式典を見て、感想を交流しました。

当時の言葉である「戦争手記」今の言葉とも言える「平和宣言記念式典での挨拶」から、平和への想いを深めました。



# 01 ヒロシマを歩いて、 見て学び、話し、考える！

【フィールドワーク・インタビュー】  
9/3(日)13:05~17:40

一日目は早速、平和記念公園へと繰り出し、グループ毎に平和記念公園内の戦跡や平和資料館の見学を行いました。実際に目で見て、場所によっては体験して、印象に残るワークになりました。

また、平和記念資料館周辺でインタビューを行い、様々な日尾との対話を通じて、多様な視点を知ることが出来ました。

## ☆原爆ドーム☆



初めて間近で見て、写真などで見るよりかは実際の被害の大きさなどを体感できた。  
(高知県公立大1年)

## ☆島病院☆



戦争中にも人を助けようと行動した人がいたから多くの方が救われたし、そのおかげで今生きている人がいるんだろうなと感じた。  
(近畿大2年)

## ☆原爆死没者慰霊碑☆



慰霊碑を中心として、過去と現代、未来を繋げていることを知り、驚いた。資料館や噴水、白い道の広がる明るい方に向かっていくために、原爆ドームの過去を忘れてはいけないのだと思った。  
(愛教大3年)

## ☆原爆の子の像☆



資料館でも展示されていた方の像であり、幼くして被害にあいながらも前を向き闘病に励んだ姿が印象的だった。  
(東薬大2年)

## ☆平和記念資料館☆



絵を見て当時の様子が黒や暗い赤で鮮明に描かれていて、こんなにも悲惨な景色を見るとそれを忘れることはできないんだろうなと思った。  
(広島大2年)

## ☆平和の鐘☆



実際に撞座で叩いてみて、原子カマークが大きかったので、作った人はそれだけ禁止にしてほしいと思って作ったのかと考えたから。  
(日福大1年)

## ☆平和の門☆



韓国人原爆犠牲者慰霊碑で起きた差別問題も含め、今もある差別問題を考えさせられた。  
(三重短1年)

## ☆レストハウス☆



偶然1人だけ生き残った野村英三さんの日記をその場で読み、より野村さんの心情が伝わってきた。  
(近畿大1年)

## ☆インタビュー☆



「あなたにとっての平和とは何ですか」という質問に対する、様々な人の答えを聞いて、とても考えさせられることが多かった。  
(徳島大1年)



今までの平和学習で得られなかった、新たな人との関わりや、新たな視点を共有できました。  
(福市大1年)



## 02 フィールドワークの感想を語り合おう!

【感想交流】9/3(日)17:40~18:40

フィールドワークやインタビューを通して、印象に残ったことや学んだことを感想交流によってアウトプットしました。

今までとは違った視点、実際に体験したからこそ思うこと、参加者の感想が率直にあふれる交流でした

## 03 当時を生きた人から、生の声を聞く。

【被爆者講話】9/4(月)10:00~11:00

今年も実際に被爆者の方から、生のお話を聞くことが出来ました。

当時を思い返して描いた絵を見せて頂きながら、生々しくも鮮明な当時のことをお話いただきました。

「平和は大事に守らないと逃げてしまう」との言葉があり、これからの平和活動を継続していく契機となりそうです。



原爆が落とされる前、その日、その後の日の行動を細かく教えていただいていた想像以上だと思った。当時を表す言葉の表現、私たちへのメッセージが最も印象に残った。

(名工大2年)

子どもから大人まで全ての人から日常を奪う行為であり、尊い、人の命をも奪ってしまう恐ろしいものだから戦争はだめだと思う。

(奈良女2年)



## 04 過去と核兵器から平和について考える。

【企画①】9/4(土)09:20~10:00/11:15~11:55

広島で平和を考える際には、原子爆弾を欠かすことは出来ません。広島の過去を提起や資料館の記憶から振り返り、戦争と核兵器について、条約から考えました。

皆さんは核兵器禁止条約に批准するべきだと思いますか。人ごとではなく自分事として一度考えてみてください。

## 05 今の世界は…現在の社会から平和について考える。

【企画②】9/4(土)12:55~14:00

この時間では、現在の社会を身近な課題から世界的な課題まで様々な視点から考えました。一日目のインタビュー、平和の意識や出生登録といった問題から、今が平和なのか、再度考え直す機会になりました。



平和だと思うか? という問いがとても難しかったです。でもそれを考え続けることも大切なんだと思います。

(広島大2年)

今の自分たちの生活があるのは、過去に未来のために行動してくれた人たちがいたからだと理解し、未来のために行動することの大切さを学ぶことができました。

(近畿大1年)



## 06 そして、私達がこれからの平和な未来を考える。

【企画③】9/4(月)14:10~15:25

最後に、これからのに向けて、自分たちが平和な未来へのボタンを繋ぐために何が出来るかを話し合いました。

企画②で出した平和の要素、これを実現するために私達に出来ること、これからやって行くことを話し合い、宣言しました。